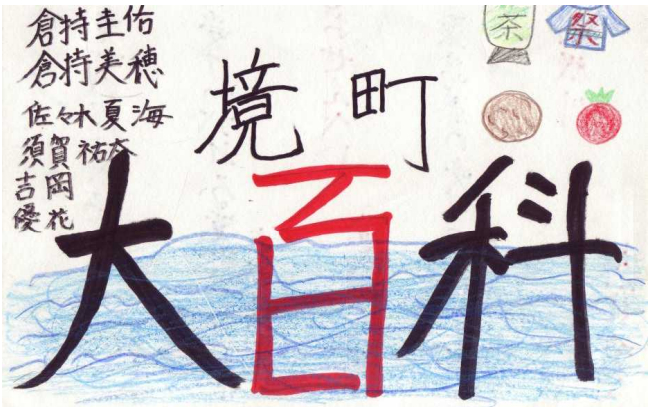


地域自慢

境町の有名な物・行事

森戸小学校 6年



私たちは、国語学習の「ようこそ、わたしたちの町へ」で境町のおすすめの場所などを記した、パンフレットを作りにしました。昔からの行事や町の特産物、この町のいいところを取材し、編集して町のよさを伝え、この町を好きになってもらいたいと思いました。

受け継がれる 境町の行事



七月には、ふるさとまつり、競笛パレードがあります。つなひき大会もやります。秋には町の運動会があります。

この祭りのもととなるのは、香取神社に合祀される八坂神社の祭礼「天王さまの祭り」です。十五日には、おみこしが社から出され、町内を巡りまわります。おみこしもおみこしを地区ごとに心を弾ませ、ねり歩きます。

十九日の「水神宮祭り」は、二十三日はおみこしが社にもどされ、祭りはクライマックスをむかえます。

八坂神社は、「京都市東山区」に本宮があり、「スサノオノミコ」を祭るものです。スサノオノミコは、神話の中でヤマタノオロチを退治した英雄であり、また京都の町をおろした渡船も退治してくれる神様として祭られています。

また、同時に祭礼が行われる水神は、水難から人々を守る神で、舟運によって栄えた境町には、極めて大切な祭礼です。

境町の

野菜の紹介

境町では、はくさい、ねぎ、レタス、きゅうりのほかにも、お茶などがあります。春レタスが、全国で一位、日本ですが、全国で二位、メロンが全国で一位です。境町のとなりの坂東市岩井地区でも、レタスを作っています。

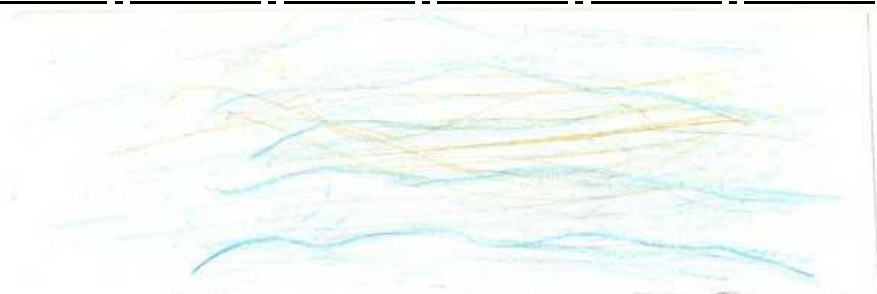
全国的には、岩井の方が有名ですが、境町でも、レタスのさいばいをしている、とてもおいしいので、ぜひ、食べてみてください。

感想

わたしは、境町の野菜を調べて、境町には、数多くの野菜があることがわかって、よかったです。

利根川

桜堤が守った堤防決壊



利根川は、なんでこんなふうなの？

「桜堤」の起源は江戸時代中期（寛文）の初代「鬼石前」に由来する。この「鬼石前」の土境が築かれた。この「鬼石前」の土境が築かれた。この「鬼石前」の土境が築かれた。

その後、桜堤は（一七〇一年明治）に修築され、一九〇一年（明治）に町の費用で増築。工事を行ったといわれています。

元禄（天明）六年には、当時の境町長、高路直次郎の考案で町民一人一木の寄付を募り、堤防の内側に「桜の木」を植樹した。こうして「桜堤」は桜の名所となり、町民から「桜堤」と呼ばれるようになった。利根川に注ぐ長井戸沼の水が、増水し、境町に侵入するのを防ぐために、桜堤を築いたのです。